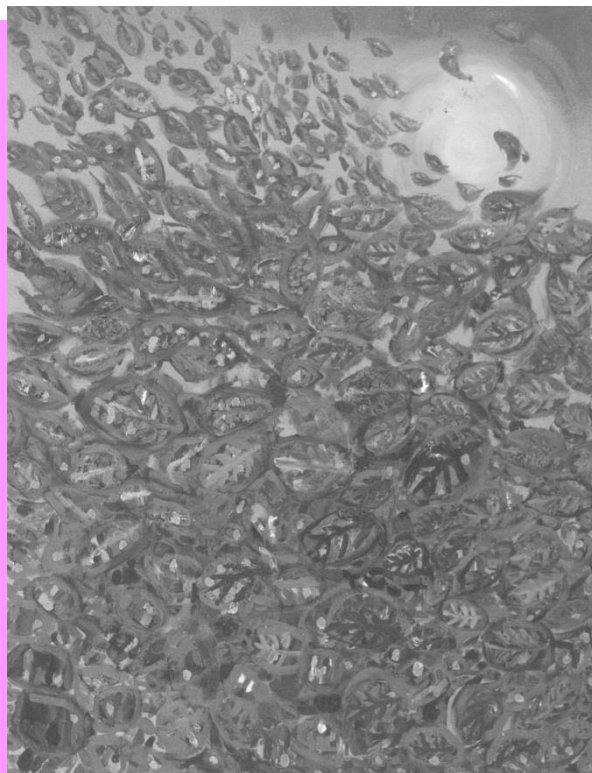


だい じ さかいししょうがいしゃちょうきけいかく  
第4次堺市障害者長期計画

がいようばん  
概要版



へいせい ねん がつ  
平成27年3月

さかいし

 堺市  
SAKAI CITY

# もくじ

## だい しょう 第1章

### けいかく この計画について

1

## だい しょう 第2章

### けいかく かんが かた この計画の考え方

2

## だい しょう 第3章

### けいかく と く この計画で取り組むこと

4

## だい しょう 第4章

### けいかく すす かた この計画の進め方

11

ひょうしきさしえ  
【表紙挿絵】

左 「いっぱいあきの秋」

かいがていきょう よこやま あつし し  
絵画提供：横山 温思 氏

右上 「働はたらく人」

かいがていきょう みつひ よしひこ し  
絵画提供：三井 吉彦 氏

右下 「バーベきゅーQ」

かいがていきょう おおえ りえ し  
絵画提供：大江 理恵 氏

みぎうえさしえ  
【ページ右上挿絵】

「はなでんしゃ電車」

かいがていきょう すみ かずま し  
絵画提供：甬 一馬 氏



# 第1章

# この計画について

## 計画をつくった意味

- ◆わたしたちの国では、これまで、障害のある人もない人も共に一緒に暮らし、活動できる社会をめざして、いろいろな取り組みが進められてきました。平成18年（2006年）に、国連で、障害者の権利を守るための「障害者の権利に関する条約」という取り決めがされ、日本でもその取り決めを守るためのいろいろな法律がつけられました。
- ◆これからは、「障害者の権利に関する条約」にある「合理的配慮」の考え方により、みんながお互いを大切に思い、障害のある人もない人も、そのさまざまな個性をお互いに認め合える共生社会をめざして積極的な取り組みを進めることとなります。「合理的配慮」とは、すべての人が、さまざまな障害に行きとどいた心づかいをすることです。
- ◆堺市でも、これまで、障害者のための取り組みの充実に努めてきました。平成24年4月には、「堺市健康福祉プラザ」がオープンし、また、障害者の生活を支えるために大切な「相談」を充実するために、各区に障害者基幹相談支援センターをつくりました。そのほか、障害者のためのサービスを充実したり、障害者が働くための支援や、障害者の権利を守ること、障害者が虐待を受けないようにすることなど、さまざまな取り組みを行ってきました。しかし、障害者の生活を守り、安心できる暮らしをめざすには、まだまだたくさん解決しなければならないことが残っています。
- ◆こうしたことから、これまでの障害者のための計画を見直し、障害者をはじめとするすべての市民が暮らしやすい堺市をめざす新しい計画として、この計画をつくりました。

## 計画の対象と計画期間

- ◆この計画は、堺市のすべての障害者、障害児が対象です。
- ◆この計画の期間は、平成27年度（2015年度）から平成35年度（2023年度）までの9年間です。

## 第2章

# この計画の考え方

この計画のいちばんもとなる考え方は、

**障害者が住み慣れた地域で、主体的に、共生、協働のもと  
生き活きと輝いて暮らせる社会の実現**

です。

この意味ですが、

「**障害者が住み慣れた地域で、主体的に**」暮らすことのできる社会とは、すべての障害者が、その生活や人生を大切にされて、いろいろなサービスなどを使いながら、地域の中で、自分の力で自分らしく生活を送ることができる社会を表しています。

「**共生、協働のもと**」で暮らすことのできる社会とは、みんなが障害に対して正しく理解して、障害のある人もない人も地域の中で一緒に、あたり前に生活できる社会、また、そうした地域をみんなで作る社会を表しています。

「**生き活きと輝いて暮らせる**」社会とは、すべての障害者が地域の中で安心して暮らし、それぞれ自分らしく個性や能力を活かして活動できる社会を表しています。



◆このような社会をつくっていくために、次の3つの考えを大切にしながら取り組みを進めていきます。

### 障害者の人権、自己決定権を大切にします

◆人権とは、人間だれもが持っている大切な権利であり、障害者への差別は、障害者の人権が守られないことです。障害者差別のない社会をつくっていきます。また、自分のことは自分で決めるという意味の自己決定権も大切な権利であり、こうした障害者の権利を大切にしながら取り組みを進めます。

### 障害者の年齢や障害の状態などに心づかいの行きとどいた支援をします

◆それぞれの障害者の年齢や、障害の状態などに配慮しながら、一人ひとりに寄り添って支援をします。障害者に関わるいろいろな人が協力して、その人のための支援を考えながら取り組みを進めます。

### 障害者の生活を妨げるいろいろな社会の壁を取り除きます

◆社会には、障害者の生活を妨げるいろいろな壁があります。障害者が社会で活動したり、安心して生活を送ることができるように、「合理的配慮」（すべての人が、さまざまな障害に行きとどいた心づかいをすること）をめざした取り組みを進めます。

◆この計画では、次の方向に沿って取り組みを進めていきます。

- ① 障害者への差別をなくし、障害者の権利を守る取り組みを進めます
- ② 障害者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう取り組みを進めます
- ③ 障害者が仕事をしたり、社会のいろいろな活動に参加できるように取り組みを進めます

## だい しょう 第3章

# けいかく と く この計画で取り組むこと

## 1 しょうがいしゃ さべつ しょうがいしゃ けんり まち と り すす 1 障害者への差別をなくし、障害者の権利を守る取り組みを進めます

### [1-1] しょうがいしゃ けんり まち [1-1] 障害者の権利を守ります

① しょうがいしゃ ぎゃくたい ふせ さかいし しょうがいしゃぎゃくたいぼうしたいおう かんけい  
① 障害者への虐待を防ぐため、堺市の障害者虐待防止対応チームが、いろいろな関係  
する人たちと きょうりょく と く すす しょうがいしゃ ぎゃくたい きんし  
する人たちと協力しながら取り組みを進めます。障害者への虐待が禁止されてい  
ることを、しみん し  
ることを、市民に知らせていきます。

② しょうがいしゃ さべつ しみん きぎょう し がっこう おし  
② 障害者を差別しないように、市民や企業などに知らせていきます。学校などでも教え  
ていきます。

③ しょうがいしゃ けんり まち さかいし けんりようご  
③ 障害者の権利を守るためのいろいろなしくみをつくり、堺市の「権利擁護サポーター」など  
を、しみん し えん  
を、市民に知らせていきます。

### [1-2] しょうがい しみん りかい すす [1-2] 障害について市民の理解を進めます

① ちいき がっこう しょうがい ただ りかい ほうほう しょうがい  
① 地域や学校などで、障害について正しい理解がされるように、いろいろな方法で障害  
のことを知らせていきます。しょうがいしゃ みすか しょうがい はなし かた  
のことを知らせていきます。障害者のみなさんが自ら障害についてお話を  
する「語  
り部活動」なども進めていきます。

② しょうがいしゃしゅうかん しょうがい りかい  
② 障害者週間などに、障害のことを理解するためのイベントなどをします。

③ しょうがい しみん りかい すす さかいし けんこうふくし  
③ 障害についての市民の理解を進めるために、堺市の「健康福祉プラザ」でいろいろな  
と く おこな  
取り組みを行うことができるようにしていきます。





### [1-3] 障害者に情報を伝えます

- ①すべての障害者に、障害の状態に合わせてわかりやすく堺市の情報などを伝えることができるようにしていきます。
- ②目や耳の不自由な障害者に、情報をきちんと伝えられるように、堺市の「視覚・聴覚障害者センター」などでいろいろな取り組みを進めていきます。
- ③障害者に情報を伝えたり、他の人と話をするを手伝ったりする人を育てて、増やしていきます。

### [1-4] 障害者が悪徳商法や詐欺などの被害に遭わないようにします

- ①堺市の「消費生活センター」で、障害者が悪徳商法や詐欺などの相談をしたり、被害から助けられるような取り組みを進めていきます。
- ②悪徳商法や詐欺などの手口の情報などを、障害者にわかりやすく伝えていきます。
- ③周りが気づかないうちに障害者が被害を受けているといったことがないように、周りの人にも注意するべきことを教えていくなど、さまざまな取り組みを進めていきます。

### [1-5] 障害者が選挙や投票をしやすくします

- ①選挙についての情報を、障害者にわかりやすく伝えていきます。
- ②障害者に心づかいの行きとどいた投票所をつくり、投票所での投票をしやすくしていきます。
- ③郵便を使った投票や、病院などに入院しているときの投票などの方法をわかりやすく伝えます。また、障害者のみなさんの意見も聞きながら、わかりやすい投票のしくみを考えていきます。

## 2 障害者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように、 取り組みを進めます

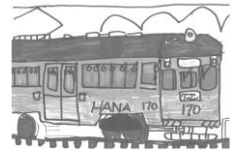
### [2-1] 障害者の医療や介護サービス、障害児への支援などを 充実します

- ① 障害者が安心して医療を受けられるようにしていきます。また、障害者がリハビリテーションを受けやすくするためのしくみを考えていきます。精神の病気や難病についても、患者が安心して医療を受けたり、相談したりできるようにしていきます。
- ② 障害者が地域で自分の力で生活できるように、必要なサービスを利用できるようにしていきます。障害者の生活を支えるサービスをよいものにしていくために、サービスを提供する人を育てていく取り組みを進めていきます。
- ③ 障害者の健康づくりや、生活習慣をよくしていくための取り組みなどを支援していきます。
- ④ 身近な地域で障害児が必要な支援を受けられるようにしていきます。障害を早く見つけて、早くから支援を受けられるようにする取り組みを進めていきます。

### [2-2] 障害者の年金や手当などについて情報を伝えます

- ① 障害者が受けることのできる年金や手当、いろいろな割引などの情報をわかりやすく伝えていきます。
- ② 障害者が生活の中でお金のことで困っていないかなどを調べて、生活の心配を減らすための年金などのしくみを考え、国に伝えていきます。





## [2-3] 障害者が地域で安心して暮らすことのできる場をつくります

- ① 障害者が自分の家で安心して生活できるように、家のつくりを暮らしやすく直したり、家を借りたりするときの支援を進めていきます。
- ② 障害者が仲間と一緒に生活できるグループホームをつくっていきます。障害が重くなったり、年をとったりしても、グループホームで生活できるように取り組みを進めていきます。
- ③ 施設を出て地域で生活する障害者や、家族から離れてひとり暮らしをはじめる障害者が、安心して地域で暮らすことができるように支援をしていきます。障害者の地域での暮らしをしっかりと支えていくため、地域で暮らしていくことに不安を感じている障害者が、いろいろな支援を受けられるようにしていきます。

## [2-4] 障害者から相談を受けたり、困っている障害者を見つけるしくみを充実します

- ① 障害者から相談を受けるさまざまな人が協力して、一人ひとりの障害者の生活に寄り添って、とぎれのない支援をしていきます。地域の中で困りごとを抱え、自分で相談したりすることができない障害者本人や家族を見つけて、支援するしくみをつくっていきます。
- ② 障害者が必要なサービスを使うことができるように、サービスを使うための計画をつくる人を育て、増やしていきます。
- ③ 障害者が裁判などを受けることになったときに、警察や裁判所と協力しながら、障害者を支援するしくみをつくっていきます。
- ④ 障害者本人が、自分のことを自分で決めたり、いろいろな活動に取り組んでいくことを支援していきます。また、障害者の家族が障害や支援について学んだり、交流したり、障害者本人や家族がお互いに助け合ったりする活動に対して支援をしていきます。

## [2-5] 障害者の防災や防犯を進めます

①大きな災害が起きたときに、障害者が避難できるように、地域の人やサービスを提供している人とも協力して取り組みを進めていきます。

障害者が安心して過ごすことのできる避難所をつくっていきます。生活についての情報などが避難所の障害者にわかりやすく伝えられるようにしていきます。

大きな災害により、仮設住宅に住むことになったときも、障害者に配慮した住宅をつくっていきます。障害者のこころのケアにも取り組んでいきます。

②火事などが起きたときに、障害者がすぐに消防署などに連絡し、助けに行けるようにしゅくみを充実していきます。

③障害者が犯罪に巻き込まれないように、警察や地域と協力して取り組みを進めていきます。障害児の見守りや、犯罪の被害を受けた障害者のこころのケアなどにも取り組んでいきます。



### 3 障害者が仕事をしたり、社会のいろいろな活動に参加できるように、 取り組みを進めます

#### [3-1] 障害者の社会参加などを進めます

① 障害者が地域の行事や活動に参加したり、ボランティア活動などに参加したりすることを支援していきます。

② 障害者のための取り組みについて話し合う会議に、障害者のみなさんに出席してもらったり、意見をお聞きする機会をつくっていきます。

#### [3-2] 障害児のための教育を進めます

① 障害児本人や保護者の意見も聞きながら、障害児一人ひとりに合わせて心づかいの行きとどいた学びの場をつくっていきます。障害児に関わるさまざまな人が協力して、障害児の学びを支援していきます。

② 子どもたちが障害について理解を深めていけるように、学校での障害に関する教育を充実していきます。

③ 学校の先生などが障害について正しく理解することができるように取り組みを進めていきます。

#### [3-3] 障害者の芸術活動や、スポーツなどを進めます

① 障害者が芸術に親しんだり、芸術活動を行ったりすることに対して支援を進めていきます。障害者の芸術や、いろいろな国の人との交流などを進めるために、市内にある「国際障害者交流センター（ビッグ・アイ）」と協力していきます。

② 障害者がスポーツに親しんだり、トレーニングに取り組んだりすることができるように支援を進めていきます。市民のスポーツ大会などに障害者が参加しやすくすることで、スポーツやレクリエーションを通じた交流を進めていきます。

### [3-4] 障害者が働くことを支援します

- ① 障害者が企業などで働くことができるように、障害者一人ひとりに合わせて仕事の訓練をしたり、職場での実習を受けたりすることができるように取り組みを進めていきます。
- ② 障害者の仕事を探したり、仕事に就くことを支援するたくさんの人が協力して、障害者が安心して働き続けることができるようにしていきます。
- ③ 障害者を雇ってくれるように企業に働きかけます。障害者を雇うことに対していろいろな支援のあることを企業に伝えていきます。
- ④ さまざまな障害の状態に合わせて、障害者が作業所などで働くことができるようにしていきます。作業所でつくるものがたくさん売れるようにしたり、人気を高めて、作業所で働く障害者の工賃を上げるなどの取り組みを進めていきます。
- ⑤ 堺市自らが、障害者を多く雇うことができるように取り組みを進めます。企業に対して、障害者が安心して働き続けることができるように、心づかいの行きとどいた職場をつくっていくことを伝えていきます。

### [3-5] 公共施設や交通機関などを障害者に使いやすくします

- ① 鉄道やバスの会社と協力して、障害者のみなさんの意見も聞きながら、障害者に使いやすい公共交通機関をつくっていきます。
- ② 市役所、区役所をはじめとする公共施設や、障害者がよく利用する施設などがたくさんある地域で、障害者のみなさんの意見も聞きながら、障害者に使いやすいまちづくりを進めていきます。
- ③ 障害者が移動しやすい歩道をつくったり、移動の妨げになる放置自転車をなくす取り組みを進めていきます。障害者が利用する駐車場についても使いやすいものを考えていきます。



## だい しょう 第4章

# けいかく すす かつ この計画の進め方

- ◆この計画は、堺市が中心になって取り組みを進めていきますが、障害者のよりよい暮らしを支えていくためには、障害者のみなさん自身や、障害者にサービスを提供する人、地域の人など、いろいろな人が協力することが大切です。みんなで力を合せてこの計画を進めていきます。
- ◆この計画をしっかりと進めていくために、この計画に関わる人たちが集まる場で、計画について話し合ったり、障害者のみなさんに意見を聞くなどして、計画の進み具合をチェックしていきます。
- ◆堺市のホームページなどを使って、この計画を広く市民に知らせていきます。障害者のみなさんにも、いろいろな機会を利用してこの計画の内容についてお知らせしていきます。

メ 毛

---

Handwriting practice area consisting of 20 horizontal dashed lines.





このパンフレットでわかりにくいことがあれば、  
ここに書いている窓口まで連絡してください。

だい じ さかいししょうがいしゃちょうきけいかく がいようばん  
第4次堺市障害者長期計画（概要版）  
へいせい ねんど ねんど  
（平成27年度～35年度）

へいせい ねん がつはっこう  
平成27年3月発行

はっこう さかいしけんこうふくしきょく しょうがいふくしぶ しょうがいしさくすいしんか  
発行 堺市健康福祉局 障害福祉部 障害施策推進課

〒590-0078 さかいしさかいみなみかわらまち ばん ごう  
堺市堺区南瓦町3番1号  
TEL 072-228-7818  
FAX 072-228-8918

さかいしぎょうせいしりょうばんごう  
堺市行政資料番号 1-F5-14-0299